

金成氏當選祝賀と

石城政友總會

稀れに見る盛會裡に

本日聚樂館で

既報石城政友部總會は今日八日午後一時から平町聚樂館で盛大に開催された木村部會長の開會に次いで別項の如く役員改選に移り引續いで次の宣言決議を萬場一致で可決總會を終り同二時半から金成貴族院議員の當選祝賀會を舉行先ず井上部會幹事長の開會の挨拶あり木村前代議士(事務長)から詳細な経過報告後前警視總官宮田光雄氏以下の祝辭後萬雷の拍手に迎へられて金成新貴族院議員立つて謝辭を述べ祝賀の宴に移つた

宣言

今や滿洲國は承認せられ東亞全局の安定期して待つべきものもあるも、獨斷偏見悉く愆れる認識の裡に行はれたる聯盟調査團の報告に徴し國際的關係の急迫蓋し一日の儉安を許さざるに至れり、内は國民生活の重壓に因る世相の悪化あり帝國の現狀は舉國一致敢然としてこの國難を打開せざるべからず、刻下の非常時に際會し我黨恒に政策を樹つるや衆に媚びず空しさを掲げず終始一貫實際に即して眞に國民生活の安定に寄與せんとす、若く

揮し同志相率の敢て時局匡救の重に任せん事を茲に負す

決議

一、我黨は刻下の非常時を救済し黨既定の政策遂行に邁進し苦境に沈淪せる國民の生氣を恢復せん事を期す

部會長は

木村氏重任

副會長は

山崎古川氏

別項役員改選の結果は部會長前代議士木村清治(重任)副會長前縣議山崎古川、同古川傳一、幹事長縣議井上茂作(重任)常任幹事古田忠太郎以下全部重任以上

議會報告演說會

今夕六時から聚樂館で

鈴木佐藤二代議士 宮田、安藤兩氏應援

郡選出鈴木佐藤兩代議士の議會報告演說會は今日夕六時から平町聚樂館に於いて開催鈴木代議士佐藤代議士の詳細な報告演說後本部特派の代議士前文部政務次官安藤正純氏元警視總官勅選議員宮田光雄氏兩氏が一大獅子吼を試みる筈で近來の盛會を豫想される

大野共同出荷

石城郡大野村農會では七日午後

午前十時四十二分平驛發列車にて任地へ出發した

南裏の

道路工事

愈々着工

既報平町南町酒井醫院裏より鐵道町裏に至る長さ百間

旅客収入は赤字だが

貨物収入は黒字

依然乗合自動車に押される

平驛の乗客

平町の支關口平驛に於ける去月中の乗降客數を見ると乗客が四萬二千三百五十五人、降客四萬九百二十一人は是の收入額一萬六千八百四十七圓六十二錢に及んで居るが昨年同期と比較すると乗客で六千六百四十四圓、降客で九百七十五圓、收入額に於いて千七百五十圓十七錢と全部の減收を見依然赤字を出して居る一方貨物に於いては發送が三千五百五十

求人開拓デー

係員が總動員で 全郡内に宣傳

平職業紹介所では来る十日全國的に行はれる全國職業紹介所總動員に依る求人の開拓及び利用宣傳を行ふ爲め當日はポスターを各連絡小學校、停車場、郵便局及び主要地の理髮店、湯屋等に掲載する外ビラ八千枚を小學生徒に依り配布し一方

市内各官衛、銀行、會社商店等を歴訪して求人の開拓をなす等求人開拓並に紹介所の利用に就いて大々的運動を行ふと

四倉繭市況

收穫取入多忙で 出廻り漸く尠し

四倉繭市場に於ける晩秋蠶は愈々出廻りを過ぎ七日に於ては七百六十七貫、最高五十七圓二十錢、最低四十五圓三十錢、馴五十二圓六十錢と依然下落氣味を示して居るが各農家共秋の諸收穫物の取入れに追はれ出したので今後は益々出荷を減少されるであらうと

正札堂!

顧客本位の 奉仕

平停車場通り例のソレ正札堂では目下冬物を豊富に取揃へ賣出して居るが原料が値上りしたにも拘らず値上げせず顧客本位に大奉仕して居るので人氣を呼んで居る本年の流行は差向として紺ガラスコッチ中年向として茶系統であつて値段は三ツ組十圓位より二十圓位が一番賣れて居る其他トンビオーバ等の格安品も豊富に取揃へてあると

平町人事

- △平町九品寺前三三 鈴木久彌太氏二女崇代
- △平町白銀町五 村山三郎氏次女照子
- △山形縣北村山郡袖崎村字五十澤一 齊藤金之助氏(三三)平町胡摩澤一五〇大ガアサ(三三)
- △回死(三三)
- △平町古鍛冶町七 遠藤宏(一ツ)
- △平町紺屋町九 關内トヨ(八〇)
- △平町田町一九 須藤サクエ(二九)

美人揃ひの

コンパル

料理は好評 ウルトラモダンで明るい感じのする平停車場通りコンパルでは味覺の秋にふさわしい松茸料理其他種々始めたが美人女給揃ひの上に料理第一主義をモットーと

耳よりな炭界の復活

トン當り一圓五十錢奔騰

さしもの大貯炭の山も崩れ出し

ホクホクの常磐炭界

未曾有の不況に喘ぎ續けてゐた常磐炭界も昨今一般事業界の好轉と糸價奔騰による製絲業界の復活等に依つて前途に一脈の曙光を

見出したのと磐炭

入山、古河の三大礦を始め群小炭礦までが或は従業員の大整理或は出炭炭大制限等に極度の緊張振りを見せた甲斐があつて昨今需要期

に入つたのと相俟ち今初旬から俄然活況を見せ一時數十萬噸と唱へられた貯炭の山も次第に崩壊し此の調子で進めば今年中にはさしもの大貯炭も残らず駆け出すだらうと漸く樂觀されるに至つた折柄各方面からの注文殺到し今七日遂に噸當り一圓五十錢の奔騰を見るに至つた

罹病斃死豚を...

賣飛す不正商人

危険極まる仲買者を

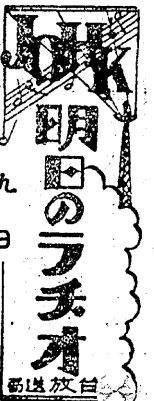
平署徹底的に取締る

既報石城郡下の豚コレラは大猖獗で縣當局では縣令を以て本月四日より豚の移動禁止を命じたが此の爲め最も影響を受けたのは豚の仲買商人で全然商賣が出来ない處から豚コレラ菌は人體に傳染しないのを奇貨として斃死豚肉を密かに移出入して居る者が現はれた殊に農家で罹病斃死豚の處置に窮してゐるのを幸ひに棄値同様の安値で買込み是を平内郷・湯本等に轉賣してポロイ儲けに北叟笑んでゐる

放送

旅行中の川崎社長

川崎本社長は五日夜名古屋放送局の放送を終り其の後關西北陸各地の講演旅行を



明日のラジオ

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- ピアノと歌 ピアノ、五十嵐のぶ子、獨唱、菅野信子
- 後六、二五 英語講座「中等科」(二ノ三)シヨークイジャー
- 後七、三〇 講演「リットン報告と我國の立場」東京帝大教授 法學博士 神川彦松
- 後八、〇〇 ピアノ、ヴァイオリン、二重奏、ピアノ、レオシロタヴァイオリオン

明日の部

- 前九、一〇 栄養料理「ワカメの味噌汁」アサリと野菜の甘辛」煮養養研究所
- 前九、三〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告
- 後九、三〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告
- 後九、三〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

千五百圓を持った男

平で行方不明

家人から捜査願

山形縣米澤市立町四三二二生糸商朝倉保重(三)は去月廿九日平町の神武會に出席すると稱して現金千五百圓餘を持出して出掛けたが其後何等の音沙汰がないので

解禁日を待つ

獵天狗連

不景氣には勝てぬものか 免許願タツタ一件

天狗連の待ちかねる秋の狩獵シーズンも愈よ迫り来る十五日解禁日を直前に銃の入手や準備に取りかかつたファンも多いので平署で

秋の覺味

豊香の漂ふ 平附近の山野

茸狩りの人出て賑ふ

初秋から連日梅雨時の様な降雨續きで郡内茸の産地は各方面とも著しい豊生で神谷村片寄山、大室山、天神山等平附近の茸山は連日たけがりの人出で賑ひ殊に日曜祭日等の人出は物凄く程で初茸、しめぢ類一貫以上も採取してホクホク顔も珍らしくない大野玉山、白岩の松茸も非常に豊生で連日數十貫の採取を見てゐる程だ此の爲め去年あたりまでは百掛から市場に晒されるのも間近いだらう

保護願

徒歩で来る

昨夜七時頃町役場に労働者風の者が神經痛の爲め歩行難となり町役場に救済方を願出たが同人は秋田市鐵砲町三二生れ吉見豊治(四)で去月十日東京市神田區の某自轉車店倉方として働いて居るうちに神經痛の爲失業し郷里に歸るべく徒歩で平町迄辿り着いたものである

視力の保存

十日平署で 大宣傳!

平警察署では来る十日全國に行はれる第二回全國視力保存デー當日は一般市民及び學生間の視力保存に關する思想普及の爲めポスター及び「失明豫防と視力保存に就いて」とのパンフレットを廣く配布して普及宣傳の徹底を計る事になつた

平職業紹介所報告

- 求人部の部
- △女中、三十才迄 尋卒 給料面談(平町某)
- △求職の部
- △ミシン裁縫 十七才 商三卒 給料面談(平町某)
- △八百屋店員 十八才 高給料面談(東白川郡某)

幕末剣士

【禁載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

女流劍客里見靜枝

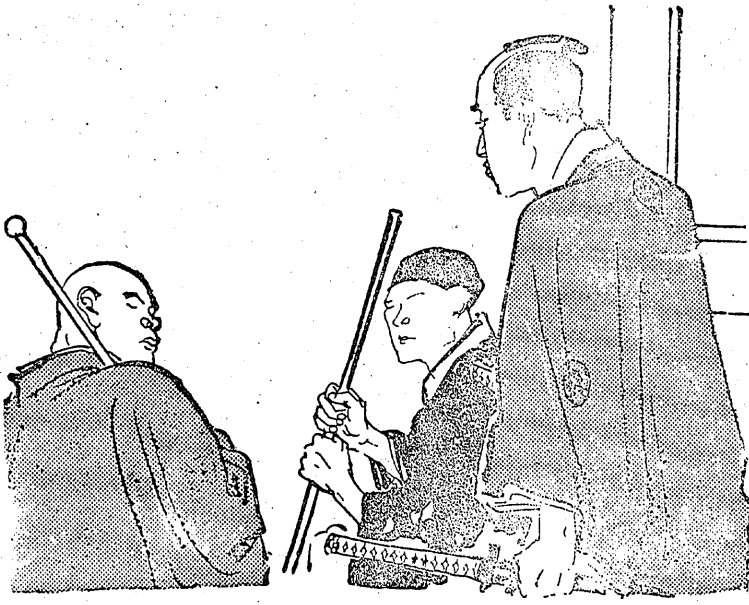
第一百七十席

代りに拂つた廿兩

盲人の政の市は懐中を探つて小柄を出し
政「どうぞ御覽なすつて下さいまし、平手さんから預つた品物でございます、質に置くことも出来ねえ物を渡してわたくしと清庵の貸を踏み倒さうとは亂暴千萬を踏み倒さうとは是非とも金を返して貰ふつもりで出て来ました、平手さんが御留守ならば先生に會はして下さいまし」

○「それは困つたな平手殿に貸た金だ、先生は此事御存知がない、貸す時に先生に一應話しがあつたならば平手殿に代つて返してもやが、其貸す時には無断で返さぬ故先生に談判するとは筋違ひ何れ平手殿も戻つて參るであらう、それまで待つてゐろ」
政「へ、それでは此處に待つて居ります」
○「其處にゐられては困る宅に引取つて待つてゐろ」
政「いえ引取りません、此處に居りますよ、なア清庵平手さんの歸るまで此處にゐる事にしよう」
清「それがよい、わたくし共の金を踏み倒しては冥利

が悪うございませう、わたくし共は金を貸て利を取るの甘い物を喰はふの酒を飲まうと野心があつてする事ではございませぬ、その金を京都へ持つて行つて宮位を取る爲でござんす、千兩を献上すれば檢校になれます



るさう云ふわけで座頭の貸金は娘を賣つても返せとお町奉行のお諭しもございませぬ、どうしても返さなければ訴へて出ます、さうなれば此方の先生のお名前も出ます、見えにもなりません、まア兎に角も此處を拜

周「イヤ、其事は只今門人から聞いた、その金の抵當に小柄を渡して置いたさうだな」
政「へ、是でございませぬ、葵の紋が附いて居りますから質屋で取らせん」
周「さうか、ウンこれかよ

借して平手さんの歸るを待つ事に致します」
政「それはお氣の毒さまでございませぬ、オイ清庵、先生が返して下さるとよ」
清「有難いな流石日本一の大先生だ、話がよく判るな」
周「證文があればこれへ出せ」
政「へ、御覽に入れます」
二人は懐中から燕口を出してこれが證文でございませぬ

し、俺が廿兩返して遣はす」
政「それはお氣の毒さまでございませぬ、オイ清庵、先生が返して下さるとよ」
清「有難いな流石日本一の大先生だ、話がよく判るな」
周「證文があればこれへ出せ」
政「へ、御覽に入れます」
二人は懐中から燕口を出してこれが證文でございませぬ

周「ソレ此れへ置くぞ、三兩あるぞ」
政「有難う存じます、お蔭さまで隠かに濟みまして御同様に御芽出度うございませぬ」
周「小柄は俺が申受けた」
政「へ、ソレそんな物はわたくし共の手にあつた處で一兩の融通もつきませぬどうか又これを御縁にお金が入用は御沙汰を願ひます、淺草田中の家主新兵衛の店では長屋でございませぬ、への九番の政の市とお聞きなされば直に判ります、へ、左様なら、あゝ有難い、倒されるかと思つた」
と輻のやうな眼をパチパチしてニコリ笑ひ二人は戻つて行く、千葉先生はその小柄を持つて奥へ入る間もなく道場の前にビタリと鶴が着いたが中より出たは平手造酒
造「待つてゐる駕昇コレへ三浦」
と大きな聲で呼んだそれへ出て来たは内弟子。

中村齒科醫院

七町冶鍛町平

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

▼新らしく安い
葬具と
靈柩自
動車御
用達

造花

は
町川新町平
屋本橋
番三六一話電

専門 内科一般
宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話一八一番

磐城セメント會社特約店

久全屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

- 良品廉賣に勝る商略なし
- 確實敏捷はの生命なり

☒配達敏速☒

産名城磐

魚問屋

最優大 志平
日賀 目丁
生命 盛電
平代 一二番
店理 榮三番